

校長会報

令和2年度 第1号
発行所
島根県小学校長会
事務局
松江市母衣町 55
県教育会館内
TEL (0852)27-8530
FAX (0852)67-3360

「未来を見据え

しまねの子供たちのために」



島根県小学校長会長

中 村 次 郎

(松江市立母衣小学校)

今年度の島根県小学校長会長に選任されました。皆様のご協力を得ながら各事業を推進し、本会をさらに活性化させることで、島根県の小学校教育の充実を図り、子供たちの健やかな成長のために努力したいと思えます。

一 活動の方針

急激な社会変化の中でも、未来の創り手となるために必要な知識や力を子供たちが確実に備えることのできる学校教育の実現をめざす「新学習指導要領」の全面実施の年となりました。

また、この三月には今後五年間の島根県教育の基本理念や施策の方向性を

示す「しまね教育魅力化ビジョン」が策定されました。その基本理念は「ふるさと島根を学びの原点に 未来にはばたく 心豊かな人づくり」です。

子供たちの未来のあるべき姿を志向した「新学習指導要領」や「しまね教育魅力化ビジョン」のスタートの年、我々、校長も子供たちの未来をしっかりと見据え、子供たちにとってどんな力をつけることが必要を見定めた上で、学校経営ビジョンを構築し実践する必要があります。

この時期に、「島根県小学校長会教育研究大会安来大会」を開催するとともに、令和四年に開催される「全国連合小学校長会研究

協議会島根大会」の準備を進めていくことは、子供たちの未来を見据える上での好機として捉えたいと思えます。

本県小学校長会は真摯に、そして地道に研究と実践を重ねるとともに教育条件の整備に努めてきました。今年度も百九十七名の会員がそれぞれの個性や得意な分野を生かしながら「しまねの子供たちのために」その力を集結させ、子供たちの未来、島根の教育の未来に目を向けた活動を推進していきましょう。

新型コロナウイルス感染症への対応に教育現場も混乱している中でスタートをきった今年度ですが、こういった難局を乗り越えるためにも「未来を見据え しまねの子供たちのために」の一層の協力をお願いします。

二 主な事業予定

- (1) 総務、調査研究、対策、広報の四部会を構成して事業を推進する。
- (2) 安来市小学校長会と連携し、「第六十二回島根県小学校長会教育研究大会安来大会」を開催する。
- (3) 小・中学校長会が合同して教育条件改善対策委員会を組織し、教育条件の改善・充実に努める。
- (4) 県教育委員会との連携を深めるため、意見交換会を実施する。

未来を見据え進み行く

島根県小学校長会に期待します

前島根県小学校長会長

奥村 忠 孝

令和最初の年であった昨年度の取組を振り返ってみますと、国の教育も島根県の教育も大きく変化した年であったといえます。国については「働き方改革」に関わって、多くの施策が提言されたり、実行されたりしました。また島根県においては、「少人数学級編制」や「学校司書」についての見直しがされました。今後はその影響について注視していくことになると思います。

その中にあり、県小学校長会としての大きな成果は、十月に開催した島根県小学校長会教育研究大会邑智大会で大きな成功を収めたことでした。邑智郡小学校長会の皆様の綿密な計画・準備や速やかな運営に感謝申し上げます。さて、新しい年度がスタートしましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの学校が閉校しています。満足な教育活動ができにくい状況にあり、多くの校長先生方が困っていらつしやると思います。しかし、そのような時だからこそ、会員相互のコミュニケーションを大切にし、しまねの子供たちのためにがんばっていただけると信じています。ご活躍を祈念します。

ネットワークで乗り越える

副会長 桑 本 浩 泰



(出雲市立高松小学校)

今年度、県小学校長会の副会長を務めることになりました。微力ではありますが。

さて、「平成」から「令和」に変わって一年が経ちました。思い起こせば一年前には東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて気運が高まっていました。それが新型コロナウイルスの急速な感染拡大によって状況が一転してしまいました。まさに想定外の事態です。今もその対応に負われる日々が続いています。誰もが見過しがもてない中、不安感や焦燥感を抱きながら過ごしています。

しかし、私たちは嘆いてばかりはいられません。こんな時だからこそできることや大切にするところがあるのではないのでしょうか。例えば、様々な活動を、限られた条件の中でいかに教育的な効果を上げるかを職員間で知恵を出し合うなどして実行する。また、新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見を生まない指導を通して人権教育

を行うなどです。

今、学校にはこの苦境を乗り越えるための不利な状況が有利に働くような協働的な取組や発想の転換が求められています。その先頭に立つのが私たち校長です。様々な場面で判断や決断をしなければいけません。そんな時に拠り所となるのが、校長間のネットワークです。これまでも校長同士で情報交換をしたり連絡を取り合ったりして得た情報をもとに方針を立てた場面は、幾度もあったことと思います。

この一年、県内の校長先生方のネットワークが広がり、深まることに少しでもお役に立てればと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

よろしく願います

副会長 佐々木 朗



(隠岐の島町立北小学校)

今年度、副会長を務めさせていただきました。こととなりまして。

微力ではありますが、少しでも皆様のお役に立てればと考えております。どうぞよろしく願います。副会長という大役が務まるのかという不安でいっぱいなのが

現在の率直な心境でもあります。

新型コロナウイルスのために先の見えない状況が続く、子供たちも先生方も地域も疲弊しています。この難局に際して、中村会長のもと本年度の活動方針「未来を見据え、しまねの子供たちのために」のスローガンに則って、校長会として一致団結できる一助になればと思っております。

隠岐郡小学校長会では、五年間、研究部員として、末席を汚しておりました。その中で一番大切にしたこと、先輩から受け継いだことは、「一人に任せないで、みんなでやろう」という方針でした。研究の素案は研究部で作るのですが、それを実践するのは全ての小学校の校長でした。みんなで集まって研究について議論を重ねました。議論を重ねる中で、研究以外にも先輩の助言や示唆があり、助けられたこと、悩みを共有できたこと、校長会にたくさん助けられました。校長同士、一つのテーマを追いながらも学校経営について語り合う時間がいかに貴重な時間であったか。そこには、本会の目的である「会員の資質を高め、各支部の緊密な連絡調整を保ち、本県小学校教育の振興をはかる」が生かされていたと改めて感じるところです。

今年度の活動も様々な制約を受けることになると思います。このような時

だからこそ、各市郡の理事の皆様のお知恵をいただきながら、明るく前向きな校長会であらねばならないと思います。皆様のご協力をいただきながら少しでも校長会の発展に資するよう努力したいと思っております。どうぞ、よろしく願います。

副会長として

副会長 松 本 真理



(松江市立雑賀小学校)

今年度は、二年後の令和四年度に、この島根で開催する「全国連合小学校長会研究協議会島根大会」に向けての準備を更に進めていく年となりました。その年度に、県小学校長会副会長を仰せつかり、身の引き締まる思いです。微力ではありますが、会の充実・発展のために全力で取り組む所存です。どうぞよろしく願います。

これまで県小学校長会の事務局幹事として広報部に所属し、本年度は広報部の委員長として引き続き会務に携わることになりました。広報部員として校長会報や校長樹林、全連小の小学校時報の執筆を会員の皆様をお願いして

令和2年度 島根県小学校長会 事業計画

きました。担当の役得と申しましようか、貴重な原稿を真つ先に拝読させていただき、島根の豊かな自然や文化、歴史を土台にした特色ある学校経営についての文章を通して、自らの取組を考える機会を得ることができたように感じます。また、校長会報第三号の外部の方々から寄稿いただいた学校教育への期待や提言により、視点を外に移して教育を顧みることにつながりました。豊かな経験と深い思考で紡がれた言葉が心に残っています。

さて、今年度は新型コロナウイルス感染症の状況に応じて教育活動の計画の修正と適切な判断が求められる一年となりそうです。その中でも、広報部として、当会活動方針のスローガンにある「未来を見据えて」歩むために、我が国の教育のめざす方向性や喫緊の課題への取組などを様々な事業の報告等から適宜お伝えすることを大切に、笑顔で学びに向かう「しまねの子どもたちのために」、学校経営の参考になる情報交流の場となることが大切な役割であると考えています。

二人の副会長とともに中村会長を支えながら、島根の子どもたちのためにしっかりと活動していきたいと思います。会員の皆様のご協力をよろしくお願ひします。

*島根県小学校長会

- (1) 活動の具現化、事業の推進を図るための会議の開催、関係団体の会議へ出席する。
- (2) 理事・評議委員会(一回)、理事会(二回)、常任理事会(一回)を開催する。

※新型コロナウイルス感染症への対応により変更する場合あり

- (3) 理事会は、総務、調査研究、対策、広報の四部会を構成して事業を推進する。
- (4) 第三回理事会の中で、県教育委員会との意見交換会を実施する。
- (5) 県の各審議会等に関係団体として参加し、小学校教育の立場から意見を反映させるとともにその目的達成に寄与する。

- (2) 学校経営に関する諸課題を究明し、本県小学校教育の振興と校長としての職能向上のために、安来市小学校長会と連携を深めながら研究大会を開催する。
- (3) 第62回島根県小学校長会教育研究大会安来大会

- (3) 本県教育の充実を図るため、小・中学校が合同して教育条件改善対策委員会を組織し、関係機関と連携を密にしながら教育条件の改善・充実に努める。

- (4) 本会の諸活動を記録し、会員の研修と連携を目的とした「校長樹林」(年一回)「校長会報」(年三回)を発行する。また、HPを通して諸活動の広報にあたる。
- (5) 教育計画や教育活動の記録等、日々の教育実践の効率化を図るため、「教育記録」の編集を行い、定期的に改訂していく。

- *全国連合小学校長会、中国地区小学校長会との連携
- (1) 全国連合小学校長会と連携して教育課題を究明し、課題解決にあたる。
- (2) 総会や理事会および各種委員会や連小との連携を推進する。

- (2) 「小学校時報」を購読するとともに、教育研究シリーズの購読を促進し自己研鑽を深める。全連小の考え方や新しい教育情報や教育改革の動向、全国の校長会の活動を迅速に伝える「全連小速報」を活用し、学校経営に生かす。
- (3) 全連小と連携し、陳情・要望活動・実態調査活動を行う。
- (4) 令和四年度の「第74回全国連合小学校長会研究協議会島根大会」の

令和2年度 島根県小学校長会 負担金基礎資料

R2.41 現在

市郡	基礎数	一般会計負担金		総計
	専任校数	学校制	特別会計負担金	
松江市	33	924,000	330,000	1,254,000
安来市	17	476,000	170,000	646,000
出雲市	34	952,000	340,000	1,292,000
雲南市	15	420,000	150,000	570,000
仁多郡	10	280,000	100,000	380,000
飯石郡	4	112,000	40,000	152,000
浜田市	16	448,000	160,000	608,000
大田市	16	448,000	160,000	608,000
江津市	7	196,000	70,000	266,000
邑智郡	11	308,000	110,000	418,000
益田市	15	420,000	150,000	570,000
鹿足郡	9	252,000	90,000	342,000
隠岐郡	10	280,000	100,000	380,000
計	197	5,516,000	1,970,000	7,486,000

一般会計(学校制)	28,000円	特別会計	10,000円
-----------	---------	------	---------

※義務教育学校、小中一貫校(校長1名配置)の取り扱いについて
負担金(一般会計、特別会計、臨時会費等)は所属する籍の校長会へ納付する。
【令和2年度:3校⇒松江市:八束学園、大田市:北三瓶、隠岐郡:知夫小中】

開催に向けた準備を全国連合小学校長会と連携しながら進め、大会運営やスケジュール等の計画を段階的に作成していく。

(2) 中国地区小学校長会と連携し教育課題を究明し、課題解決にあたる。

① 理事会・連絡協議会(一回)、理事会(二回)に参加し、連絡調整を図る。

② 令和四年度の「第69回中国地区小学校長会教育研究大会島根大会」の開催に向けた準備を中国地区小学校長会と連携しながら進め、大会運営やスケジュール等の計画を段階的に作成していく。

はじめまして 新任校長より

「伝統」を感じて



成相 和広
(松江市立秋鹿小学校)

大変な状況の中でしたが、何とか一週間だけ新年度をみんなで過ごしました。

朝、校門の前で駐在さんと一緒に、一年生の入った新登校班を待っていると、遠くの方から「おはようございます！」と登校班長の大きなあいさつが聞こえてきます。そのお手本のあいさつの後、職員たちが次々に続きます。

そして、顔が見える近くまで来ると、二回目のあいさつをします。これはどの登校班も同じです。これが登校班長が代々受け継いできた伝統なんだと思いました。教員になって、何度も口にしてきた「伝統」という言葉ですが、心にストンと落ちた瞬間でした。なんだか朝から胸が熱くなります。

感染症のために先の見通せない不安の中ですが、今こそ皆一丸となってこの危機を乗り越えていきたいと思えます。最後に個人的なことですが、二月に行われる秋鹿地区伝統行事「おもつつあん」に備え、筋トレに励みます。



三原 國彦
(伊野小学校)

いつも笑顔で、人を大切に
にする学校づくりを目指
します。



新田 紀久
(意東小学校)

児童一人一人を大切に
した教育を地域と共に創
ります。



堀江 博生
(井尻小学校)



加藤 潮
(島田小学校)

誰からも「い~の」と
言われる学校づくりに
励みます。

- ㊦ごく体、
- ㊦っかりとした頭、
- ㊦おきな心を育みます。

人と人のつながりを
大切にした学校をめざ
します。



三原 久義
(佐世小学校)

だれもが「自分らし
さ」を実感できる学
校をめざします。



寺下 利弘
(海潮小学校)

一人一人が大切にされ、
活気に満ちた学校を創
ります。



山崎 創
(阿用小学校)

子どもたちの「元気と
笑顔」があふれる学校
づくりを進めます。



伊藤 慎悟
(鍋山小学校)

「地域と共に歩み・創る」
やる気まっしぐら！の学校
をめざします。

温かく笑顔いっぱいの学校
づくりをめざします。



樋野 育司
(馬木小学校)



加藤 春生
(鳥上小学校)

「僻地・小規模校に
教育の原点あり」で
がんばります。



内藤 まり子
(寺領小学校)



大地本 央仁
(川本小学校)

児童も教職員も保護者も学び合える学校にしたいです。

笑顔と笑い声で満ちあふれる学校づくりをめざします。



土井 伸一
(五十猛小学校)

一人ひとりを大切にする学校づくりを目指します。



原 義昭
(志学小学校)

小さな積み重ねを大事にして、取り組んでいきます。



福原 克己
(岡見小学校)

真砂の春に思いごと



佐藤 安治
(益田市立真砂小学校)

四月一日の朝、私はサンラポーターではなく、赴任地の真砂小学校へ向かっていました。真砂地区の入り口にさしかかった私の眼前に広がっていたのは、白・薄桃・濃桃のグラデーションに彩どられた見事な桜並木でした。静かに雨がそほ降る中のもあり、その壮麗な景色が強く印象に残っています。

田んぼの代かきが終わった現在ではカジカガエルの涼しげな鳴き声が、校長室まで届いてきます。そんな環境で思い出すのは、隠岐・海士町の「ないものはない」宣言です。都会にある便利なものはないけれど、人間性豊かに暮らすための大切なものは備わっているという趣旨の言葉です。海と山の違いこそあれ、小中学校を含む真砂地区にも当てはまる考え方ではないだろうかと考えています。自然と人に恵まれた環境をどう学校教育に活用し、地域に還元していくか、知恵を絞っていききたいと思います。



岩崎 伸史
(鎌手小学校)

「伝え合おう 強みを活かし合おう」が合言葉です

子ども達が、元気よく「ただいま！」と言える学校をめざします。



大屋裕二
(瑞穂小学校)

一人残らず みんなが笑顔になれる学校をめざします。まずは自分から笑顔で！



宮崎 晃
(東仙道小学校)

明るく！楽しく！元気よく！をモットーに活気ある学校を目指します。



山本 薫
(市木小学校)

柿木小学校だからできる教育を目指します。



河野 直樹
(青原小学校)

なかよくする・すすんで頑張る・じっくり考える子を育みます。



田中 茂秋
(柿木小学校)

「ひとみキラキラ・笑顔いっぱい」の学校をめざします。

学校紹介

しなやかに、すくすく伸びる島田っ子
(島田名産の竹のようこ)

加藤 潮

(安来市立島田小学校)

島田小学校は、安来市の東端、鳥取県との県境に位置し、米子と安来の両市街地に挟まれた農村地帯です。全校児童一三一名で、子ども達の生き生きとした声が校舎に響いています。地域の学校教育に対する理解・協力は厚く、交流センターを中心として、総合的な学習の時間やクラブ活動等へ地域講師の方々が支援してくださっています。

本校は特に、地域の教育資源を生かした、ふるさと学習を大切に行っています。地元の特産品である「梨」や「たけのこ」の栽培と生産について、体験的な学習に取り組んでいます。また、伝統芸能である「安来節」の歴史を学び、どじょうすくい等の踊りを地域の文化祭でも発表しています。

梨の学習は、三年生が取り組んでいます。春には梨の受粉作業や袋かけ作業を体験し、秋には収穫作業や梨を使った料理を作るための皮むきにも挑戦しています。どの作業も地域の方に教えていただきながら、子ども達は慣



れない手つきで一生懸命に取り組んでいます。たけのこの学習は、四年生が取り組んでいます。す。たけのこほりをしたり、たけのこ料理を体験したりして

ます。大きくなつた竹を使って、竹とんぼを作つて遊んだり、竹ざおを作つて釣りに行つたりもします。このような学習を通して、故郷島田に愛着をもたせ、進んで地域のために貢献する子どもを、多くの人達との関わりの中で育てています。

また、体力づくりにも力を入れていきます。本校の八割の児童がバスで通学しており、日々の運動量が少なく、体力不足が心配されています。そこで、年間五回のマラソン大会「スポーツイン島田」を継続して行っています。記録をデータ化し、その年での伸びや昨年との伸びを比較し、子ども達の励みとしています。保護者や地域の方も応援にかけ付けてくださいます。これからも、竹のようにしなやかな感性をもち、すくすくと伸びる島田っ子の育成を、地域の教育力を活かしながら取り組んでいきます。

「少ないからこそできることがある
少ないからこそ豊かになれる」

高橋 雄 司

(大田市立大森小学校)

大森小学校は、全校児童十一名の極小規模校で、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の中にあり、「銀鉱山跡と銀山町」の史跡指定地区のほぼ中央に位置しています。学校の周辺には間歩(まぶ)と呼ばれる坑道跡がいくつも残り、銀の精錬所跡もあります。築六十六年目を迎える木造校舎も景観の一つとして観光客にも喜ばれ、毎日のようにガイドの方の説明の声が聞こえてきます。

昭和四十四年、石見銀山が国の史跡に指定されたことをきっかけに、石見銀山遺跡愛護少年団(通称愛護団)が結成され、遺跡を守る活動と発信する活動を今でも続けています。保護者の中にも愛護団活動を経験された方もおられ、その継続性から全国的にも数少ない貴重な活動になっています。

遺跡を守る活動だけでなく、三年生以上の児童は、石見銀山について学んだことを発信する「ガイド学習」にも取り組んでいます。紹介したいスポットについて、ガイドの会の方の協力を得ながら一人一人が調べ学習を進め、内容をみんなで吟味していきます。リ

ハーサルも行います。そして、隣の小学校との集合学習が本番です。分かりやすく伝えるための表現の工夫や言葉の使い方が試されます。質問にも答えなければなりません。より価値の高い学習活動の展開を常に目指しています。

また、本校では児童全員で「子ども落語」に取り組んでいます。大田市民の祭「天領さん」や学習発表会の場で地域の皆さんに落語を披露します。主に夏休みを利用して練習に励み、腕を磨いていきます。大勢の観衆の前で語ることは大変勇気のいることですが、経験を積むごとに、表情や仕草の表現が豊かになり、緊張の中にも観客の反応に喜びと達成感を味わえるようになっていきます。落語の取組で得た力は日頃の学習活動にも表れ、自分の思いや考えを、一年生でも堂々と全体の場で述べることができます。

小規模校ならではの良さを今後も生かし、地域と共に心豊かな児童の育成に取り組んでいきます。



事務局だより

事務局長 仙田 浩志

(松江市立持田小学校)

今年度、事務局長を務めさせていただくことになりました。微力ではございますが、本会の充実と発展のために努力してまいります。会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、この「事務局だより」では、本会の事業の様子を会員の皆様にお伝えし、情報提供の場といたします。

今回は、第一回理事評議員会等の内容についてお知らせする予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防のために会合が開かれずに書面での承認となりました。そこで、承認された議事の内容及び今年度の研究大会の概要等をお知らせします。

一 第一回理事評議員会

四月二十二日(水)に開催する予定でしたが、前述の理由で会合が実施できませんでした。そこで、資料配布と書面による承認を経て、前年度の事業報告と役員改選、今年度の活動方針、予算等について承認をいただくことができました。

中村次郎会長からは、「未来を見据えしまねの子供たちのために」をスローガンとし、活動の基盤や重点等が示されました。

なお、昨年度末にご退職された校長先生方全員へ、感謝状を事務局より直接郵送させていただきましたのでご報告いたします。

二 島根県小・中学校長会

教育条件改善対策委員会総会

第一回委員総会が、五月七日(木)に開催される予定でしたが、中止となりました。書面により、前年度の事業報告と今年度の役員報告、要望活動を中心とした今年度の活動内容、予算等について承認されました。

- 今年度の役員は、次のとおりです。
- 委員 長 葛西 秀也(八東学園)
- 副委員長 門脇 巧(玉湯小)
- 副委員長 高橋 里美(宍道中)
- 事務局長 糸原 淳(本庄中)
- 事務局次長 梶田 勝造(大庭小)

三 全国連合小学校長会

第七十二回総会・研修会

五月二十七日(水)、東京で開催される予定でしたが、中止となりました。今後も全連小からの情報が入りましたら、折に触れて発信させていただきます。

四 全国連合小学校長会研究協議会

京都大会

十月二十九日(木)・三十日(金)の両日、京都市にて開催される予定でしたが、誌上発表に変更となりました。今年度から大会主題が「自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」に変わり、本県から隠岐郡が「健やかな体」の分科会で提案発表される予定でした。各発表内容等については後日大会要録にてご覧いただけると思います。

五 中国地区小学校長会教育研究大会

山口大会

十一月十三日(金)、山口市において開催されます。中国地区の大会主題も、全連小大会の主題変更を受けて、前述の主題となります。本県から松江市が「学校安全」、益田市が「豊かな人間性」の分科会で提案発表されます。

六 島根県小学校長会教育研究大会

安来大会

十月二日(金)、安来市総合文化ホール アルテピアを会場に開催されます。安来市小学校長会の皆様には、平成三十年度から開催計画立案、準備

等を精力的に進めていただいているところとです。また、松江市、隠岐郡、益田市には、ここでも提案発表でお世話になります。

七 今後の会議予定

- ① 第一回常任理事会・第二回理事会 七月二十一日(火)
- ② 第三回理事会・県教委との懇談会 八月六日(木)
- ③ 第四回理事会 三月五日(金)
- ④ 監査会 三月三十日(火)

※今後も各種大会や会議については中止や変更等の可能性がありますのでご留意ください。

編集後記

子どもたちの姿が輝く緑に映える季節。中村新会長のもと、二十四名の新任校長(再入会を除く)をお迎えし、令和二年度の島根県小学校長会が始まりました。広報部も、会員同士のつながりの場、情報交換の場等となるよう努めていきたいと思えます。

第一号を発行するにあたり、ご多用の中、お世話くださいました理事の皆様、ご寄稿くださった皆様にご心より感謝申し上げます。(松尾)

令和2年度 鳥根県小学校長会 役員表

役 名	校 長 名	勤務校	役 名	校 長 名	勤務校
会 長	中 村 次 郎	母 衣	全連小理事	中 村 次 郎	母 衣
副 会 長	桑 本 浩 泰	高 松		桑 本 浩 泰	高 松
	佐々木 朗	北	全連小代議員	佐々木 朗	北
	松 本 真 理	雑 賀		松 本 真 理	雑 賀
監 事	福 島 稔 夫	宍 道	中国地区理事	松 本 真 理	雑 賀
	伊 藤 彰 彦	掛 合		仙 田 浩 志	持 田

理 事

市郡名	会員数 (学校名)	理 事 名	評議員名	対策委員名
松 江	33	高 橋 隆 子(大 谷)	福 島 稔 夫(宍 道) 河 井 克 典(中 央)	森 脇 紀 浩(津 田)
安 来	17	㊦ 客 野 智(赤 江)	春 日 宏(十 神)	江 戸 宣 文(広 瀬)
出 雲	34	小田川 裕 一(大 社)	橋 本 幸 雄(さくら) 森 弘(北 陽)	植 田 義 久(西 野)
雲 南	15	㊦ 坂 田 英 則(加 茂)	伊 藤 彰 彦(掛 合)	大 島 悟(木 次)
仁 多	10	原 元 宏(布 勢)	藤 原 稔(三 沢)	桑 山 悟(高 尾)
飯 石	4	山 碓 延 男(頓 原)		㊦ 廣 澤 守(赤 名)
浜 田	16	㊦ 濱 崎 政 寿(長 浜)	渡 邊 淳(石 見)	松 本 潔(三 階)
大 田	16	㊦ 原 田 奈保子(仁 摩)	矢 田 悦 夫(久 手)	㊦ 笠 井 修(長 久)
江 津	7	平 田 裕(津 宮)	木 村 孝(渡 津)	㊦ 山 崎 智 則(高 角)
邑 智	11	堀 尾 亮 介(邑 智)	坂 井 務(大 和)	山 本 薫(市 木)
益 田	15	領 家 芳 明(吉 田)	大 橋 大(高 津)	㊦ 中 島 恵 治(安 田)
鹿 足	9	㊦ 岡 本 博(七日市)	小田川 治(朝 倉)	㊦ 松 元 善 生(蔵 木)
隠 岐	10	㊦ 福 本 美由紀(西ノ島)	熊 本 直 宏(都 万)	㊦ (室山美恵子)(都万中)

(会員数 197) ㊦印 常任委員会 理事 ㊦印 小中校長会教育条件改善対策委員会担当理事 ㊦印 小・中代表

事務局幹事

校 長 名	勤務校	会務分掌	所 在 地	☎・FAX	校 長 名	勤務校	会務分掌	所 在 地	☎・FAX
門脇 巧	玉 湯	対 策	699-0201 松江市玉湯町玉造4	62-0350 FAX 62-0746	遠山 茂樹	鳥 根	調査研究	690-0401 松江市鳥根町加賀1325-1	85-2018 FAX 85-2134
梶田 勝造	大 庭	対 策	690-0033 松江市大庭町1074	21-4239 FAX 21-4311	松尾 隆 恵 曇		広 報	690-0323 松江市鹿島町手結201	82-0065 FAX 82-0931
米田 靖幸	古志原	調査研究	690-0012 松江市古志原4-6-1	23-9511 FAX 21-9020	成相 和広	秋 鹿	対 策	690-0262 松江市岡本町992-1	88-2007 FAX 88-3156
高橋 和弘	大 野	広 報	690-0265 松江市上大野町1826	88-2064 FAX 88-2986	仙田 浩志	持 田	総務・ 事務局長	690-0814 松江市東持田町81	21-3987 FAX 21-9659
越野 和胤	内中原	調査研究	690-0873 松江市内中原町225	22-0300 FAX 21-0833	建岡 浩子	事務局	事務局員	690-0886 松江市母衣町55 鳥根県教育会館内	27-8530 FAX 67-3360